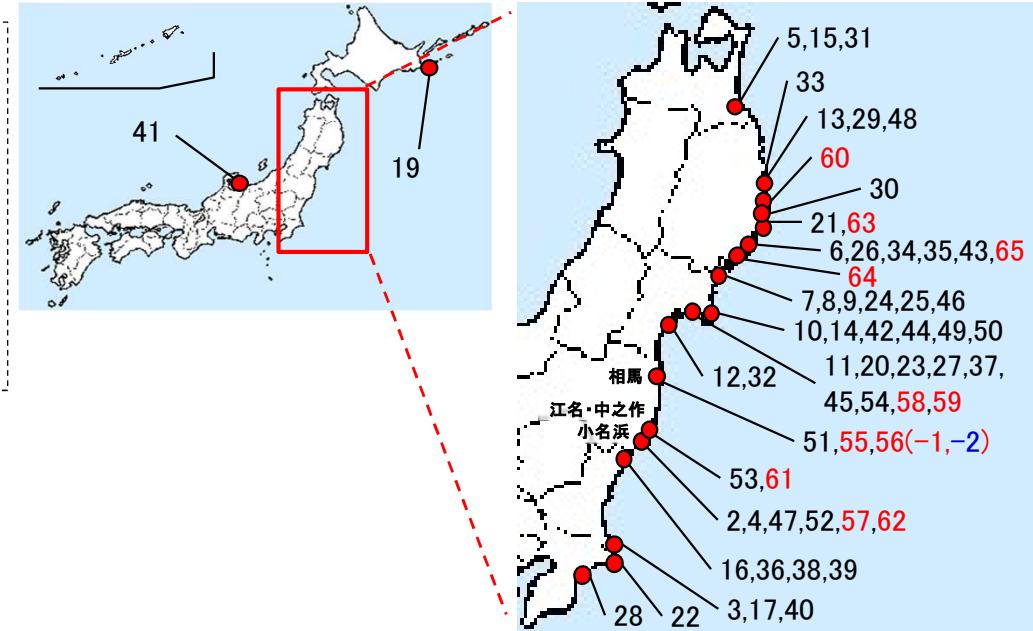


地域漁業復興プロジェクト進捗状況

(令和7年10月23日現在)

【実施中・実施予定の計画】

- 55 福島県・相馬双葉(小型) : 97隻順次操業による計画的な水揚量拡大と販路の拡大、生産基盤の安定的な確保等 【R5.1～生産回復型】
 56-1,2 福島県・相馬②(沖底) : 23隻一体による更なる水揚量回復、ICT導入による資源管理高度化、宮城との相互入会等 【R5.9～生産回復型】
 57 福島県・いわき(沖底・小底) : 23隻一体による更なる水揚量回復、ICT導入による資源管理高度化、安全性向上と品質確保等 【R5.9～生産回復型】
 58 宮城県沖底(沖底) : 12隻一体による福島との相互入会、福島及び地元水産業復興への貢献 【R5.9～生産回復型】
 59 宮城県近底(沖底) : 7隻による福島との相互入会(他6隻も協力)、福島及び地元水産業復興への貢献 【R5.9～生産回復型】
 60 唐丹町(大型定置) : 漁具の新調及び定置網構造の改造による不漁対策、魚種転換、高付加価値化、衛生管理体制維持等 【R6.11～既存船型】
 61 福島県・江名・中之作②(さんま棒受網) : 小名浜水揚量の回復、AI活用、船上凍結サンマの流通拡大 【R6.8～既存船型】
 62 福島県・小名浜②(大中まき) : 船団スリム化、共同運搬体制の確立、小名浜港への水揚体制の構築 【R7.4～新船型】
 63 釜石湾(大型定置) : 漁具の改良や漁期の見直しによる魚種転換、高付加価値化、藻害対策等 【R6.12～既存船型】
 64 広田湾(大型定置) : 魚種転換、省人化・省コスト化、担い手の確保と育成 【R7.4～既存船型】
 65 越喜来地域(大型定置) : 魚種転換、就労環境の整備による乗組員の確保、高付加価値化 【R7.5～既存船型】



【事業を終了した計画】

- 1 北部太平洋海区大中型まき網漁業復興計画 : (大中型まき網) 【全体計画】
 2 北まき・小名浜①(大中まき) : 船団縮小(2ヶ統8隻→2ヶ統4隻)、漁獲物の高鮮度保持等 【H24.6～H27.5 新船型】
 3 北まき・波崎②, ③(大中まき) : 船団縮小(4隻→3隻)、生産コストの削減等 【②: H24.4～H25.3 新船型、③: H24.2～H27.2 新船型】
 4 北まき・小名浜②(大中まき) : 船団縮小(4隻→3隻)、コンテナパックの導入等 【H24.6～H27.5 新船型】
 5 八戸(大中まき) : 船団縮小(4隻→3隻)、船凍品の開発等 【H24.5～H26.4 新船型】
 6 全さんま・大船渡(さんま棒受網) : コスト削減、高付加価値化等 【H24.10～H26.9 新船型】
 7 全さんま・気仙沼(さんま棒受網) : 兼業型・改革型漁船の導入、フックシップポンプの活用、高付加価値化等 【H24.9～H27.8 新船型】
 8 気仙沼(近海まぐろ延縄)① : 集団操業、水揚量の均衡化、ペア操業による省エネ等 【H24.4～H27.4 既存船型】
 9 遠洋まぐろ延縄・気仙沼 : 船上ロイン加工、省エネ等 【H24.5～H27.4 既存船型】
 10 遠洋かつお一本釣り・女川② : 一本釣りとまき網によるハイブリッド化等 【H24.4～H27.3 新船型】
 11 北まき・石巻(大中まき) : 船団縮小(5隻→2隻)、省エネ・省コスト、高品質化等 【H25.2～H28.1 新船型】
 12 直理(小底) : 小底と敷網漁業との兼業化等 【H25.1～H28.1 新船型】
 13 宮古・釜石(沖底) : 省エネ・省人・省力化、高鮮度出荷等 【H24.7～H27.6 新船型】
 14 遠洋まぐろ延縄・女川① : 省エネ、低燃費操業、新たな拠点整備等 【H25.1～H28.1 新船型】
 15 八戸(遠洋底びき網) : 欧州型漁船の導入、新漁場の利用等 【H25.8～H28.8 新船型】
 16 北まき・大津(大中まき) : 船団縮小(3隻→2隻)、省エネ・省コスト等 【H25.4～H28.4 新船型】
 17 北まき・波崎④(大中まき) : 船団縮小(4隻→3隻)、新型揚網機の導入等 【H25.6～H28.6 新船型】
 18 全国さんま棒受網漁業復興計画 : (さんま棒受網) 【全体計画】
 19 全さんま・歯舞(さんま棒受網) : LED漁灯の導入による燃油消費量の削減、高付加価値化等 【H25.8～H30.8 新船型】
 20 宮城県沖底①(沖底) : グループ操業による漁場の有効利用及び付加価値向上等 【H24.9～H27.8 既存船型】
 21 新おおつち(大型定置) : 船団縮小、周年操業、氷艤を備えた網船の導入等 【H24.9～H27.8 既存船型・新船型】
 22 北まき・銚子(大中まき) : 船団縮小(3隻→2隻)、小型鮮魚パックの導入等 【H26.4～H29.3 新船型・既存船型】
 23 遠洋かつお一本釣り・東・中日本 : グループ操業、燃油消費量の削減、魚艤の設備改良等 【H25.3～H28.4 既存船型】
 24 遠洋かつお一本釣り・気仙沼② : S-1製品の製造、燃油消費量の削減等 【H25.2～H28.2 既存船型】
 25 全国遠洋まぐろ・気仙沼 : 年2航海操業、労働環境の改善、次世代型冷凍システムの導入等 【H25.11～H28.11 新船型】
 26 全さんま・大船渡②(さんま棒受網) : LED漁灯の導入、漁獲物の船上箱詰め等 【H25.8～H28.8 新船型】
 27 石巻底びき(沖底・小底) : 低コスト操業と高付加価値化等 【H25.2～H27.1 新船型】
 28 千葉(中まき) : 船団縮小(7隻→5隻)、船型の改革による省コスト化、コンテナパッケージの導入等 【H26.4～H29.3 新船型】
 29 宮古・釜石②(沖底) : 省エネ型漁船、省人・省力化、高付加価値化等 【H26.4～H29.3 新船型】
 30 三陸やまだ(大型定置) : 船団構成のスリム化によるコスト削減、高鮮度漁獲物の供給等 【H25.4～H28.4 新船型】
 31 八戸③(大中まき) : 活魚、鮮魚、凍結魚の搬送可能な運搬船の導入等 【H26.10～H29.9 新船型】
 32 仙台湾(刺し網等) : マサバ刺し網から釣りへの転換、活魚出荷等 【H25.10～H28.9 既存船型】

- 33 田野畠村(大型定置・小型定置) : 網規模縮小によるコスト削減、定員削減等 【H26.4～H29.3 新船型】
 34 全さんま・大船渡③(さんま棒受網) : 省エネ・省コスト漁船、船上箱詰め等 【H26.8～H29.8 新船型】
 35 全さんま・大船渡・綾里(さんま棒受網) : 省エネ漁船、曳き網・延縄の兼業、船上箱詰め等 【H26.8～H29.8 新船型】
 36 北まき・大津②(大中まき) : 運搬機能付き網船導入、船団縮小(3隻→2隻)等 【H27.5～H30.4 新船型】
 37 石巻底びき(小底(貝引)) : 資源管理に配慮したグループ操業等 【H26.9～H29.8 既存船型】
 38 北まき・大津③(大中まき) : 199トン型新型網船導入による船団縮小(3隻→2隻)、運搬船の共同利用等 【H27.10～H30.9 新船型】
 39 北まき・大津④(大中まき) : 運搬機能付き網船導入による船団縮小(3隻→2隻)等 【H28.1～H31.1 新船型】
 40 北まき・波崎⑤(大中まき) : 船団縮小による合理化、コスト削減等 【H28.6～H31.5 新船型】
 41 全さんま(大型)・富山(さんま棒受網) : 同一船型の導入によるコスト削減、高付加価値化等 【H28.8～R元.8 新船型】
 42 全さんま(大型)・宮城(さんま棒受網) : 同一船型の導入によるコスト削減、高付加価値化等 【H28.8～R元.8 新船型】
 43 全さんま(小型)・大船渡④(さんま棒受網) : 同一船型の導入によるコスト削減、高付加価値化等 【H28.8～R元.8 新船型】
 44 全さんま(小型)・宮城(さんま棒受網) : 同一船型の導入によるコスト削減、高付加価値化等 【H29.3～R2.2 新船型】
 45 宮城県沖底②(沖底) : 新船・既存船グループ操業、高鮮度・高付加価値化等 【H28.4～H31.3 既存船型】
 46 気仙沼(近海まぐろ延縄)② : 協業化、集団操業、省エネ運航、高鮮度化等 【H28.4～H31.4 既存船型】
 47 北まき・小名浜③(大中まき) : 船団縮小(3隻→2隻)、冷海水及び氷水による鮮度保持、分散水揚げ等 【H29.3～R2.2 新船型】
 48 宮古・釜石(沖底)③ : 省エネ運航、高鮮度化等 【H29.9～R2.8 新船型】
 49 遠洋かつお・まぐろ(遠洋まぐろ延縄・女川③) : 省エネ漁船、6次産業化、高鮮度化等 【H29.4～R2.3 新船型】
 50 全さんま(大型)・宮城②(さんま棒受網) : 同一船型の導入によるコスト削減、高付加価値化等 【H29.12～R2.3 新船型】
 51 福島県・相馬(沖底) : 23隻一体による水揚量回復、機動的資源管理、流通加工業者との連携、水産物の安全確保等 【R2.9～R5.8 生産回復型】
 52 福島県・小名浜(大中まき) : 小名浜水揚量の回復、共同運航、高鮮度保持、高機動運搬船導入、水産物の安全確保等 【R2.11～R7.1 新船型】
 53 福島県・江名・中之作(さんま棒受網) : 小名浜水揚量の回復、同一型船による省コスト、水産物の安全確保等 【R3.8～R6.8 新船型・既存船型】
 54 宮城県沖底③(沖底) : 12隻体制の構築、福島沖漁場の再開発、新船導入による生産基盤向上等 【R2.9～R5.8 新船型・既存船型】

※自己負担により実施

認定漁業復興計画 65件 : 実施中 11件、実施予定 0件、事業終了 54件

(注1) 赤数字 : 実施中の計画、青数字 : 実施予定の計画、黒数字 : 終了した計画

(注2) 計画名は、復興プロジェクト名及び漁業種類の一部を省略して記載